

2023年5月19日

報道関係各位

ニッタ株式会社
代表取締役社長 石切山靖順

蒸気化過酢酸除染装置「VPASS（ヴィパス）」を用いたBSC除染サービスを開始

ニッタ株式会社（大阪府大阪市：代表取締役社長 石切山靖順）は、この度、蒸気化過酢酸除染装置「VPASS（ヴィパス）」を用いたBSC（バイオセーフティキャビネット）の除染サービスを開始しますので、お知らせ致します。

◆蒸気化過酢酸除染装置の開発経緯

無菌製造・操作環境の一つであるBSCでは、使用後のバイオハザード対策として、あるいは使用前の庫内の清浄化・無菌化処理として、主にホルムアルデヒドガスを用いた庫内のバイオ除染が専門業者により従来から行われてきましたが、当該ガスの人体への危険性などから代替手段が求められています。

そこで当社は、作業者の安全性が高く、他の代替手段に比べ簡便で迅速なバイオ除染が可能な蒸気化過酢酸（VPA）を用いたBSC庫内の新たな除染技術と、この技術を活用した蒸気化過酢酸除染装置「VPASS」を開発し、これらを用いたBSCの除染サービス事業を本年4月より市場での展開を開始しました。

◆サービス内容

蒸気化過酢酸除染装置「VPASS（ヴィパス）」による現地BSCの除染作業

窓 口：総合衛生管理企業およびBSCメンテナンス企業経由

内 容：現地における除染装置の設置指導、除染作業の実施、除染報告書の提出など

◆蒸気化過酢酸除染装置のご紹介

名 称：「VPASS（ヴィパス）」

Vaporized PeraceticAcid Sterilization System（蒸気化過酢酸殺菌システム）

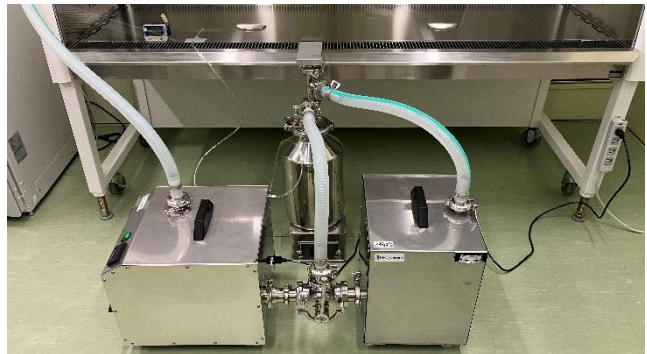
特 長：

- ① JIS 規格準拠：JIS K3800:2021 バイオハザード対策用クラスIIキャビネット
附属書 B 除染及び除染方法の評価 B.2 除染方法の評価
- ② 除染強度：指標菌 (*G.stearothermophilus*) が 6log 以上減少
- ③ 迅 速 性：簡易養生でバイオ除染可能。準備～片付けが約半日で実施可能
- ④ 低濃度の蒸気化過酢酸による他のバイオ除染方法と比べ安全な除染
- ⑤ バイオ除染後の細胞影響は極めて少ないことが示唆されている。

※第 22 回日本再生医療学会総会 演題番号：P-16-6



バイオセーフティキャビネットに
VPA 除染装置「VPASS」を接続した状態



◆除染サービス開始時期

2023 年 4 月 24 日 より

◆製品の内容に関するお問合せ先

ニッタ株式会社

クリーンエンジニアリング事業部 機器営業部 ライフサイエンス推進チーム

TEL：03-6744-2702 FAX：03-6744-2703

E-mail：ls_info@nitta.co.jp

◆参考

ニッタのライフサイエンス向け製品・サービス【BCLEEN】

「BCLEEN」とは、「空気清浄」「環境モニタリング」「除染」の3つのコア技術をベースに微生物管理において新しい価値を創造し、ライフサイエンス分野へ高度に管理された無菌製造環境“Aseptic”を提供する当社が新たに立ち上げたソリューションブランドです。

お客様の課題と向き合い、革新的な技術により「微生物学的に高度に管理された製造環境」の構築・維持を総合的にサポートします。



以上

.....
広報に関するお問い合わせ

ニッタ株式会社 経営戦略室 TEL：06-6563-1228 FAX：06-6563-1218

※プレスリリースの内容は発表時のものです。

製品の販売終了や組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますので
ご了承ください。